

熱田小児科クリニック 掲示板

9月のテーマ 『喘息』

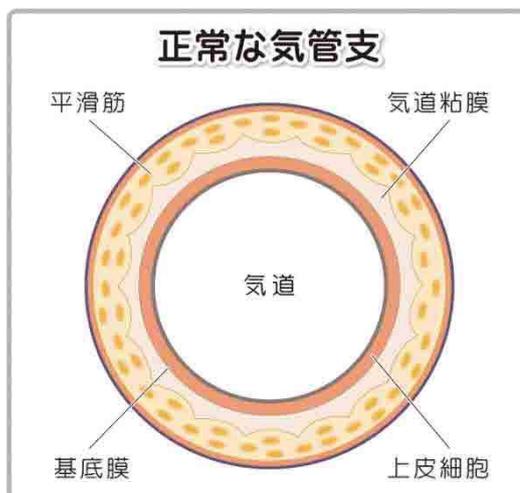
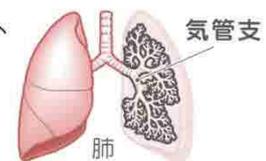
(医)熱田小児科クリニック 「ひまわり」 スタッフ

喘息は、のどから肺に広がる空気の通り道が、急にせまくなってしまふ病気です。せきやたん、そして「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という息が出て、息をするのが苦しくなります。この空気の通り道を「気道(気管支)」といいます。喘息の人は、気道に「炎症」が起きています。炎症とは、赤くはれていることです。例えば、やけどをしたら、赤くはれて、さわると痛いです。気道は痛くありませんが、敏感になっています。そこで、風邪をひいたり、走ったりしたときに、気道が狭くなって「ゼーゼー」「ヒューヒュー」となり、息が苦しくなる「発作」を起こしてしまいます。

気管支喘息とは

気管支喘息は**気管支の慢性炎症が原因**で起こり、**発作的な咳**や**呼吸困難**が起こります。

平滑筋や基底膜が厚くなる、分泌物(たん)の増加、上皮細胞が傷つき剥がれる、などによって気道が狭くなります。



喘息患者さんの気道は、症状がなくても、いつでも炎症を起こしています。そのため、ちょっとした刺激に対しても、敏感に反応して気道が急に狭くなり、発作が起こります。

☆喘息注意点☆

秋は、台風が来たり天気が変わりやすく、気温や気圧の変化が引き金になって、「ゼーゼー」「ヒュー」が出やすくなります。天気予報をチェックするようにし、涼しいなと感じたら、上着を着るなどしてしっかり体温調節をしましょう。

～発作が起きてしまったら～

- ①水分をしっかり取るようにしましょう。
- ②腹式呼吸を心がけましょう。
- ③息苦しさが続く時は気管支拡張薬を貼ったり、吸入をするようにしましょう。